



2009～2010年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2009～2010年度
国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手に
国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

John Kenny

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 江渕一秀 幹事 小野嘉之 クラブ広報委員長 岩淵正芳

例会日時：毎週木曜日 12:30～13:30

例会場：グランプラザ中津ホテル TEL：0979-24-7111

事務局：〒871-0025

大分県 中津市 殿町1383-1 中津商工会議所2F

TEL：0979-22-9716 FAX：0979-22-9722

メールアドレス：office@n-heisei.org

ホームページ：<http://www.n-heisei.org>

第979回例会 平成22年5月27日(木)



本日の例会プログラム 職場例会 (於) エトワール・ダルジャン
職業奉仕担当

◎次回例会プログラム 会員卓話 「お魚の楽園 豊前海」
地方卸売市場中津魚市(株) 常務取締役 角 和久氏

前回(第978回例会)の記録

平成22年5月20日(木) 12:30～

■ゲスト

なし

■ビジター

中津RC 山本洋一郎君

中津中央RC 多田一三君

■出席報告

会員数 25名

免除者数 0名

対象者数 25名

本日出席者 21名

欠席者数 4名

出席率 84.00%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 8名

メイクアップ 4名

欠席者 4名

修正出席率 68.00% → **84.00%**

●メイクアップ

永松(大分城西) 青木(日田)

加来(中津) 若松(豊前)

●欠席者

出納・松本・渡邊・小路

◎ロータリーソング 我らの生業

◎会長の時間 会長 江渕一秀



宮崎県で、今、牛や豚の口蹄疫の感染拡大が、大きな問題とされています。

牛や豚を処分するだけでも、11万8千頭あたりあるそうですが、もっと早く対策が出来なかったのでしょうか。これだけの数が、もし食卓に並んだとしてもとても想像はつきません。

人間に、インフルエンザが流行すれば、あっという間に広がりますが、その場合、処分はされませんが、家畜の場合は、簡単に処分されるんですね。

処分する日に、農家の方が、一頭一頭に謝っていたと言います。

私の年少の頃、農家は牛を飼っていることが多く、田んぼの畦(あぜ)草を刈り尽くし他の家の草を刈り、自分の土地は、伸びたら刈れば良いと思い、いざ、行ってみると、刈られていたりしたものです。学校から帰り、草刈りをし、藁と混ぜて食べさせていました。3年ぐらいの子牛から育て、育つと売ってお金にしますが、その間、田を耕し、一緒に散歩に行き、6年ぐらい毎日顔を合わせますので、売る為に送り出すときは、牛でも分かるのか、見つめた目が何かを訴えているように思えて、寂しい気持ちになったのを思い出しました。早く、口蹄疫が収まることを祈念して、会長の時間を終わります。

「ロータリーの未来はあなたの手に」 "ROTARY'S CHANGE IS IN YOUR HAND"



2009～2010年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



ロータリーの未来は
あなたの手に

◎幹事報告

■例会変更

中津中央RC 6/1 (火) 12:30 →
6/1 (火) 18:30～グランプラザ中津
ホテル

豊前RC 豊前西RC 大分東RC
大分中央RC 大分1985RC
大分城西RC 湯布院RC 別府東RC

■週報受理

八代RC 熊本平成RC

■週報お礼

緒方パストガバナー

■報告事項

- ・ガバナー月信5月号届く
- ・豊前RCより式典出席の御礼
- ・ガバナーエレクト事務所より「地区指導者育成セミナー」開催予定のご案内
- ・ガバナーノミニー(2011～2012年度ガバナー)に熊本城東RCの本田光曠氏が指名されました。
- ・「会員増強セミナー」開催時間の訂正

■理事会報告

- ・6月度のプログラムが承認されました。
- ・クラブ管理運営委員会の最終例会の予算が承認されました。

◎委員会報告

次年度青木会長

- ・家庭集会の開催を6月12日までにお願ひします。

リーダー	小野会員	二反田会員	江瀬会長	矢頭会員
記録	松本会員	加来会員	岩瀬会員	熊谷会員
ホスト	永松会員	大和会員	若松会員	長野修会員

- ・次年度クラブ協議会を6月17日(木) PM6:30 (於) 中津商工会議所2F 中津平成RC事務局にて開催します

◎ニコニコボックス

奉仕プロジェクト委員会
職業奉仕担当

○出納会員

久しぶりの卓話です。よろしくお願ひ
します。

○矢頭会員

長男が野球で頑張っています。

○加来会員

母の三回忌の法要で元会員の明蓮寺の
重松住職と、その息子の光君(小5年)
にお経をあげてもらいました。

○永松会員

担当なのでニコニコします。

◎会員卓話

「現在の社会的養護について」
出納皓雄会員



人間が生活していくため
には、一定の物的、社会
的資源が必要である。

この「必要」を欠いた状態を、貧
困と呼ぶことにする。
人間の生活は常に「社会生活」で
あるから「必要」とは、その人が
現に生きている社会に参加し、惨
めな思いをすることなく、人間ら
しい生活を継続しうる水準と内容
で考えられなければならない。
憲法にも「健康で文化的な最低限
度の生活」という表現で明示して
ある。

子供は環境に左右されやすい。し
たがって大人以上に、貧困から守
らなければならない。社会的養護
問題は子育て家族の貧困を基底に
もつ。貧困とかかわりあった様々
な困難や不利が親子の子育てを追
いつめる。社会的養護の実践は子
供を育てることを通して、子供が
負った傷を回復し親世代の社会的
不利を子供世代に移転させないた
めの社会的な営為のひとつである
つまり児童養護施設は、本格的に
子供を貧困から守る砦であったは
ずだし、これからもそうでなけれ
ばならない。
社会的養護は“養育のいとなみで
ある”その観点からいくつかのお
話をしたい。